



人材派遣のヒューマンアイが、東芝インフラ機器テクノロジーを買収

2022年12月26日、人材派遣業大手のヒューマンアイ（八王子市、TDB企業コード970072780）は、東芝インフラ機器テクノロジー（府中市、TDB企業コード987150406）を買収する契約に合意した。株式譲渡日は3月1日。譲渡金額は非公表。

ヒューマンアイは、全国27拠点にて東芝系ほか国内主要メーカーの製造現場への人材派遣だけでなく、一部では製造受託や介護企業への人材紹介、また独自に通所介護事業なども行っている。

東芝インフラ機器テクノロジーは、東芝インフラシステムズ（川崎市川崎区、TDB企業コード、983654431）の100%子会社で、同社から鉄道車両やビルシステム用の機器などの組み立てなどを請け負っている。

今回のM&Aに当たって、ヒューマンアイはプロジェクトチームを結成。コンペでは、東芝グループとの長年の付き合いや、東芝OBの雇用、ヒューマンアイ側でのシナジー効果の高さなどが評価されたと分析している。なお、東芝インフラ機器テクノロジー株式会社の従業員の雇用は維持される。

ヒューマンアイの就業人員数約3500名のうち約1400名は外国籍者のスタッフで、国籍は平均して20カ国に上る（最大35カ国）。中でもネパールでは現地に在留資格「特定技能」の資格取得を支援する職業訓練学校を設立し、人材の確保育成に努めている。また、製造管理システムの現場で得られた知見を、コロナワクチン接種の会場運営に生かして受注するなど多角化も進めており、要注目企業である。

株式会社ヒューマンアイ

資本金4375万円、代表取締役会長：桐生一郎氏、代表取締役社長：高橋良輔氏

東芝インフラ機器テクノロジー株式会社（3月1日から株式会社TiET）

資本金7000万円、代表取締役社長：田邊匡志氏